

佐々蔚 しげたけ 教育家。天保十三年九月九日加賀國金澤城下高岡生れ、  
 明治二十五年二月十日歿（八四—一九〇二）。藩醫佐々大士の三男。初名  
 良政、幼名余所之助、通稱逸郎。號默柳。慶應二年長崎に遊學、蘭學  
 を修む。明治七年陸軍蕃地（臺灣）都督府に出征、征蕃役に本營書記  
 として従軍。解職後と東京に止り、高須正路塾の塾頭を務める。翌年  
 聘せられて西多摩村西多摩小學校教員、十六年病を獲て解職歸郷。回  
 復後千葉縣監獄本署教誨師となるも、幾許もなく西多摩小學校に復職、  
 在校前後二十餘年。終生娶らず。

へ幼年時代に此の人の教育が彌之助とことらへ……彌之助の生涯、大  
 感化を與へた（中里介山）といふ介山研究にも必須の人物。『默柳  
 佐々蔚』（桜沢）昭執筆、昭和五十二年四月十五日佐々蔚先生顕彰会  
 編輯）がある。

